

環境方針

持続可能な地球環境の実現のために、気候変動の緩和と適応や環境への負の影響の最小化に向け、環境問題を経営の重要事項と位置付け、事業活動のみならず、職場環境に至るまで、全ての業務プロセスにおいて、環境に配慮した活動を推進します。また、調達先や協力会社に対しても、環境に配慮した業務遂行を求め、地球環境の改善に努めます。

マネジメント体制

地球環境問題に対応し、持続可能な発展をしていくためには、建物のライフサイクルを通して、あらゆる局面で環境への負荷を減らしていかなければなりません。そのためには、規制に従うだけでなく、自主的かつ積極的に環境保全の取り組みを進めていくことが求められています。

環境に関するマネジメントシステムの構築・実施・有効性を継続的に改善するために、発生源の特定とリスクの低減や、安全で健康な職場環境を提供することの重要性を、「会社の方針」に明記し周知します。方針に基づき定めた「目標」は、年度毎の見直しをし、マネジメントレビューを行った上で、システムの妥当性を評価しています。

実績

①温室効果ガス排出量削減による地球温暖化防止

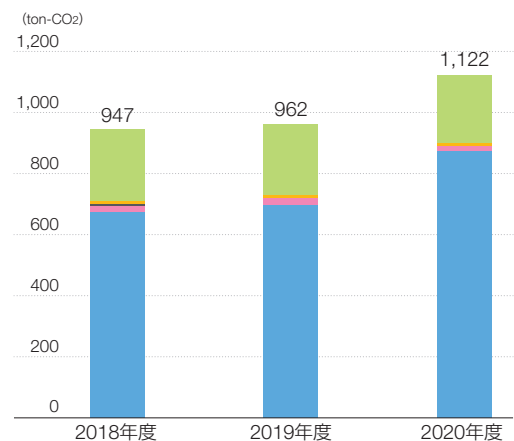
SCOPE 1

自社施設で使用する燃料消費、社有車、通勤用私有車の使用にともなう直接排出量

自社施設で使用する燃料消費、社有車、通勤用私有車の使用にともなう直接排出量(SCOPE 1)は、1,122(ton-CO₂)となり、2019年度より160(ton-CO₂)増加しました。

排出量の大半は社有車、通勤用私有車によるガソリン消費量であることから、水素燃料電池車等エコカーの導入を積極的に進めています。

単位: ton-CO ₂	2018年度	2019年度	2020年度
■ 重油	238	233	222
■ 灯油	8	7	9
■ ガス(プロパン)	7	3	2
■ ガス(都市ガス)	20	22	17
■ ガソリン	673	696	872

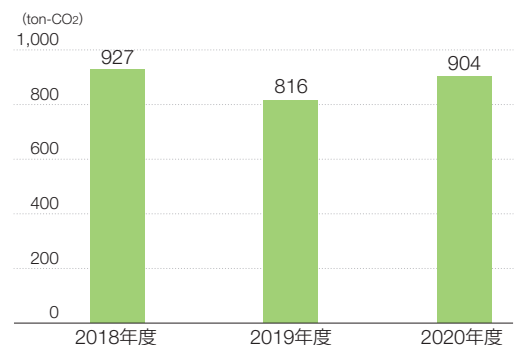


SCOPE 2

自社施設で購入した電気の使用にともなう間接排出量

自社施設で購入した電気の使用にともなう間接排出量(SCOPE 2)は、904(ton-CO₂)となり、2019年度より88(ton-CO₂)増加しました。

働き方改革やコロナ禍にともなうテレワークの導入等、環境が大きく変化していますが、これらを踏まえながら自社施設における電気使用量の低減に向け、引き続き取り組んでいきます。

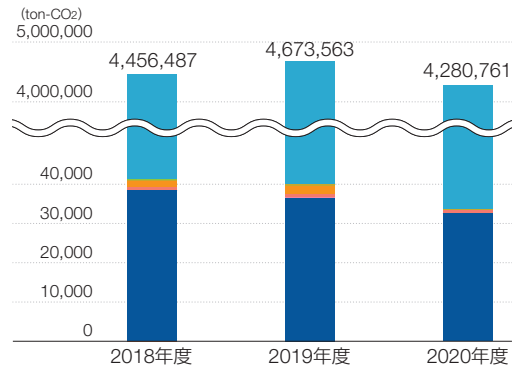


SCOPE 3 事業者の活動に関連する他社の間接排出量

事業者の活動に関連する他社の間接排出量(SCOPE 3)は、4,280,761 (ton-CO₂)となり、2019年度より392,802 (ton-CO₂)減少しました。

SCOPE 3の排出量は、当社が納入した建築設備の運用が99%以上を占めていることから、温室効果ガス排出低減に向けた提案や、設備を最適に運用管理することができる運転制御技術やエネルギーマネジメント等の展開に向けて取り組んでいます。

単位:ton-CO ₂	2018年度	2019年度	2020年度
■カテゴリ1:現場施工	38,362	36,546	32,548
■カテゴリ2:自社設備	0	0	0
■カテゴリ3:電気・燃料	190	190	223
■カテゴリ4:輸送	660	654	625
■カテゴリ5:廃棄物	1,631	2,184	2,333
■カテゴリ6:出張	225	293	78
■カテゴリ7:通勤	189	247	239
■カテゴリ11:設備運用	4,415,230	4,633,449	4,244,715



※1)カテゴリ3は、SCOPE1、2に含まれない電気・燃料
 ※2)カテゴリ11(当社が納入した設備運用)は、運用期間を15年として記載
 ※3)カテゴリ8~10、12~15は、当事業に該当しない活動

②廃棄物削減・リサイクル化の推進による資源保護

2020年度における産業廃棄物の総排出量は2,249.68tonで、リサイクル率は90%でした。

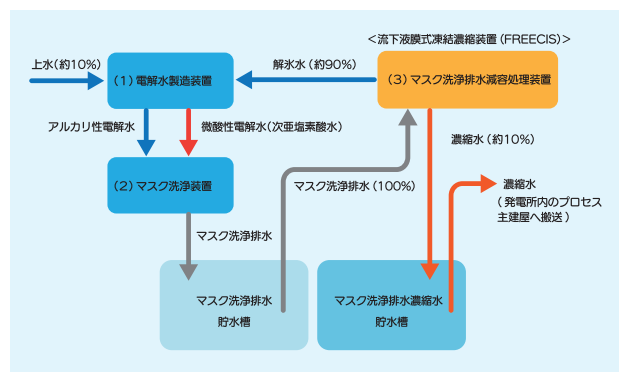
リサイクル率が低いのはガラス陶器くず(13%)と、廃油(32%)で、廃棄物を出さない工夫や廃棄部を有効に回収する方法等の課題解決に向け取り組んでいきます。

産業廃棄物の種類	総排出量 (ton)	リサイクル率 (%)
廃油	0.66	32
廃プラスチック類	652.00	100
紙くず	151.86	100
木くず	144.10	100
繊維くず	0	0
金属くず	978.14	100
ガラス陶磁器くず	172.87	13
がれき類	7.00	100
その他(石綿、混合廃棄物他)	143.05	40
合計	2,249.68	90

③排水削減による水資源の保護

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所で使用している作業用全面マスクの自動洗浄と洗浄排水の減容処理を一体化した「マスク洗浄・排水減容処理システム」を納入しました。

このシステムは、すでに納入し先行稼働中の「電解水製造装置」と今回納入した「マスク洗浄装置」および「マスク洗浄排水減容処理装置」で構成されています。「マスク洗浄装置」は、発電所内で作業時に使用したマスクを、電解水により自動洗浄し、汚れの除去、脱臭およびウイルスの不活化を実現します。また、「マスク洗浄排水減容処理装置」は、マスク洗浄後の排水を約90%浄化して再利用し、これまで100%排出していたマスク洗浄排水を約10%に減容し、発電所での排水量削減に貢献しています。



マスク洗浄・排水減容処理システム概要図